



学校だより 神橋

令和2年2月28日
横浜市立神橋小学校
3月号

チェリーブラッサム

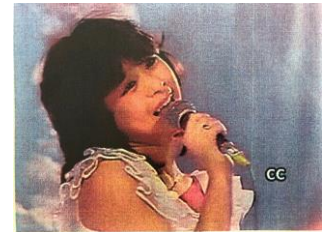
校長 末松 隆一郎

春霞たなびき、街や山々の稜線も、春の始まりを力強く縁取るようになり始めた弥生3月。梅の花も満開となり、季節は確実に、芽生えと躍動の時を迎えようとしています。優しさと力強さを増す春光の力も借りて、新型コロナウイルスの脅威が一日も早く払拭されることを心から願うばかりです。

新しい時代の幕開けで始まった本年度(令和元年度)も、残り僅かとなりました。学校では卒業式の練習も始まり、1年の総仕上げ、そして、次年度の準備に一層の拍車がかかり始めています。

今年は暖冬のため、早くも桜前線が北上を始めようとしているそうです。最新の予報では、東京の開花は3月16日頃とのこと。一足早い春の訪れは嬉しさもありますが、学校的には「入学式までは散らないで」と思ってしまいますね。列島に本格的な春の訪れを告げていくかのように北上していくこの花は、卒業・入学に関わらず、別れと出会いの中で、それぞれにとっての新しい季節が始まる期待と喜び、不安や緊張を、蕾から開花、満開から散りゆく儂い時の中で私たちに与えてくれているように思います。そして、そんなドラマチックなこの花には、たくさんの歌が歌い継がれてきました。森山直太朗「さくら(独唱)」、コブクロ「桜」、福山雅治「桜坂」、いきものがかり「SAKURA」、嵐「サクラ咲け」等々、どの世代にも思い出深い「桜ソング」がきっとあるのではないかと思います。

私にとって忘れられない桜ソングは、1981年、松田聖子さんの「チェリーブラッサム」です。この歌が流行りその年の桜が開花した頃、私は大学受験に失敗し、浪人することとなりました。歌詞にある「未来の夢 キャンバス」を掴むことができず、開花、満開、お花見シーズンというニュース画像や松田聖子さんのこの歌を予備校選びをしている日々の中で聴くたびにこう思っていました。「来年の今頃は、絶対にこの歌を口ずさみながら、自分の夢を描き始めよう！」と。翌年の春には無事夢を描くためのキャンバスを手にすることができましたが、今でもこの歌を聴くと、当時の様々な思いが鮮明によみがえります。そして、その時々感じた桜の美しさの違いも。



本格的な春、そして、桜の季節もすぐそこまでやってきました。今年の桜、子ども達はその美しさに何を感じるのでしょうか。皆様にとってはどうでしょうか。桜咲く季節が今年も巡ってきたことに感謝し、神橋小学校に関係するすべての方々お一人お一人が、それぞれの美しい桜に出会えることを心から願っています。

♪何もかも めざめてく 新しい私
走り出した船の後 白い波 踊ってる

つばめが飛ぶ 青い空は 未来の夢 キャンバスね
自由な線 自由な色 描いてゆく 二人で

—ありがとうございました。—

本年度一年間、本校の教育活動に対しまして、保護者並びに地域の皆様が常に温かく見守ってくださり、ご理解とご協力を賜りましたこと、教職員一同心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。次年度も、さらに鋭意努力を重ね、共に歩む中で成長・発展し、「桜咲く」一年にしていきたいと思っております。よろしくお願いたします。